

1 基本情報

施策名	3 - 2 地域拠点がにぎわうまちづくり				戦略名	拠点創造プロジェクト				
担当	担当部	市民環境経済部	担当課	市民活動支援課						
	部長名	岡田 光一	関係課	危機管理課	障害福祉課	高齢者福祉課	健康課	都市計画課	生涯学習課	

2 取組目標(Plan)

取組目標	<p>●小学校区を基本的な単位とした地域のまちづくりを進め、地域の特性に応じた魅力ある地域づくりと地域住民の連携と協力による見守りや災害時などに相互に助け合うしくみづくりを進めます。</p> <p>●各地域に大小様々な交流の場やサービス提供の場などをつくり、充実させることで、安心して快適な生活を送れる地域づくりを進めます。</p>
------	--

3 平成31年度取組状況(Do①)

取組1 小学校区を基本的な単位としたまちづくり協議会の設立の推進

取組方針	各小学校区で福祉・子育て・防犯・防災などの様々な分野について、地域の課題やその解決方法を協議するまちづくり協議会の設立を進めます。					
取組内容	<p>小学校区を基本的な単位としたまちづくりを進めるため、モデル小学校区（第三小学校区と大山口小学校区）にて、小学校区まちづくり協議会設立準備会（以下、準備会）を設立し、準備会の開催、みんなでまちづくりセミナーやみんなでまちづくりトークの開催、アンケート調査の実施、広報紙の発行を行った。第二小学校区では、ワイワイ広場、防犯・交流等のプロジェクトを実施し、まちづくりへの機運を高めた。</p> <p>また、地域における防災力の向上を図るため、広報やケーブルテレビ等での啓発活動、自主防災組織設立時に防災資機材を交付したほか、白井総合公園での防災訓練の実施、地域の防災訓練への支援など防災意識の醸成を図った。</p>					
構成事業	事業No	事業名	評価	事業No	事業名	評価
	39	まちづくり協議会設立支援事業	現状のまま継続			
	40	地域防災力向上事業	改善して継続			

取組2 市内の様々な場における世代に関係なく利用できる居場所や交流の場づくり

取組方針	地域において様々な世代が気軽に集まり、交流できるサロンなどの場を充実します。					
取組内容	<p>各地域における集いの場の活性化・継続のために、サロン代表者交流会を開催し、レクリエーションの実演、グループワークによる参加者同士の交流や情報交換を行った。</p> <p>また、西白井地区において、住民同士の交流やふれあいの場となるコミュニティ施設（西白井コミュニティプラザ）を整備し、令和元年10月より供用を開始した。</p> <p>障がいのある人及びその家族が、住み慣れた地域の中で生活ができるようにするため、社会福祉施設整備費補助金を活用して整備された施設を含め、体験の機会や場、相談や緊急時の受け入れ等の機能を持つ地域生活支援拠点として認定した。</p> <p>小さな交流の場として、P-PFIの活用可能性について検討し、社会実験として白井総合公園内においてキッチンカーの導入を行った。</p>					
構成事業	事業No	事業名	評価	事業No	事業名	評価
	41	西白井地区コミュニティ施設整備事業	終了（平成31年度）	43	小さな交流の場づくり事業	現状のまま継続
	42	地域生活支援拠点等整備事業	改善して継続	44	集いの場づくり支援事業	廃止（令和2年度）

取組3 地域の人が地域の人のために身近な生活サービスを提供する地域拠点づくり

取組方針	地域の拠点を舞台として、市民それぞれが持つ能力を活かし、見守り・家事サービスなどの身近な生活サービスが提供されるしくみをつくります。					
取組内容	<p>高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し続けることができるよう、互助活動や地域福祉に関心のある市民が集まる会議（ふれあい会議）を2ヶ月に1回開催し、地域課題及び資源創出について検討した。また、課題解決へと導くために生活支援コーディネーターを配置し、住民による活動を生み出した。</p>					
構成事業	事業No	事業名	評価	事業No	事業名	評価
	45	生活支援サービス体制整備事業	現状のまま継続			

取組4 地域の人や団体を活かした生きがいつくりや健康づくりの場の充実

取組方針	総合型地域スポーツクラブなどの地域における活動資源を活かした、生きがいつくりや健康づくりを進めます。					
取組内容	<p>地域住民がいつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しめるよう、地域スポーツの拠点である総合型地域スポーツクラブ（5中学校区）の活動を支援した。</p> <p>白井梨トレ体操第2を小中学校や保育園に周知し、運動会や行事にて活用されたほか、ふるさとまつり等のイベントでの紹介や市民、関係団体等へCD・DVDを配布し、広く周知を実施した。</p> <p>また、市民大学校を2学部構成により、生涯にわたる自主的な学習の実践と地域の愛着、生きがいのある地域生活の実践を支援するとともに、自主的に介護予防活動を行う自主グループの立ち上げ支援を3団体に実施した。</p>					
構成事業	事業No	事業名	評価	事業No	事業名	評価
	46	総合型地域スポーツクラブ支援事業	現状のまま継続	48	地域健康づくり事業	現状のまま継続
	47	白井市民大学校事業	改善して継続	49	介護予防自主グループ支援事業	改善して継続

4 施策展開の状況(Do②)

改善した取組	<ul style="list-style-type: none"> 市民大学校にて講師に卒業生が加入する団体を活用し講座を実施した。
他分野・他施策との連携	<ul style="list-style-type: none"> 白井梨トレ体操第2の周知及び活用の促進を広く図るために、児童館事業や子育てサークル、地区社会福祉協議会の事業などと連携を行った。

5 施策推進コスト(Do③)		(千円、%)				
	H28決算	H29決算	H30決算	H31決算	R2予算	
事業費	13,606	42,053	54,976	299,557	49,356	
人件費	38,032	48,079	58,941	63,195	60,738	
合計	51,638	90,132	113,917	362,752	110,094	
プロジェクト内割合	16.2	24.8	25.3	42.2	15.7	

6 1次評価(Check①&Action①)

	施策指標名	単位	基準値/基準年度		目標値	実績値					
					R2年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	
定量的評価	安心して暮らせる地域であると思う市民の割合	%	-	-	71.0	71.0	66.1	60.4	60.0		
	地域の課題解決のために地域住民で取り組んでいると思う市民の割合	%	-	-	52.0	41.9	48.2	47.1	42.7		
	地域で孤独感を感じている市民の割合	%	-	-	13.7	27.4	25.0	37.8	21.3		
	生活支援サービス創出数	件	5	(H27)	18	10	11	12	14		
	地域にライフステージや興味に応じた活動の場が充実していると思う市民の割合	%	-	-	50.0	40.3	-	41.5	32.0		
定性的評価	<p>地域において、集いの場としてサロン、介護予防の場としてしるい楽トレ体操の自主グループ、生きがいづくり・健康づくりの場として総合型地域スポーツクラブが設立され、地域を起点に住民主体の多様な活動が生まれ、各地域に大小様々な拠点が創出されている。また、市民大学校では、新たな地域活動の担い手が生まれている。このように住民主体の多様な活動、地域活動の担い手づくり、多様な主体の連携によるまちづくりが推進されている。</p> <p>しかしながら、多様な主体の連携による地域ごとのまちづくりとして、第三小学校、大山口小学校及び第二小学校区では、「小学校区まちづくり協議会」の設立に向けて検討が進んでいるが、他の6つの小学校区については、具体的な取組が進んでいないことから、本評価とした</p>						<p>進捗状況</p> <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> おおむね順調 <input checked="" type="checkbox"/> やや遅れている <input type="checkbox"/> 遅れている				
課題	喫緊の課題			中長期的な課題							
	<p>高齢化の進行やコミュニティ意識の希薄化、働き盛り世代層を中心とした多忙な暮らし等により、地域の担い手不足が一層進むことが予想される。小学校区単位のまちづくりの推進や地域に交流の場等を創出していくには、地域の担い手確保が重要な課題である。</p>			<p>地域の多様な主体が協働し、まちづくりを推進していく仕組みづくりとその実践活動の広がりを創りながら、市民一人ひとりの自治意識の醸成を図っていくことが重要な課題である。</p>							
施策の方向性(改善策)	短期的な方向性			中長期的な方向性							
	<p>各小学校区の地域特性に応じたまちづくりを進めるため、令和2年度は、2つのモデル小学校区の小学校区まちづくり協議会設立準備会にて、市との協働により小学校区まちづくり計画の策定及びまちづくり協議会の組織、運営、規約等を協議し、協議会の発足を目指す。また、第二小学校区において準備会の設立を目指す。モデル小学校区以外の小学校区は、モデル小学校区の事例を紹介し、小学校区単位のまちづくりの機運の醸成を図る。</p>			<p>モデル小学校区や第二小学校区におけるまちづくり協議会の活動を支援するとともに、モデル小学校区での事例を他の小学校区にも情報発信し、小学校区単位のまちづくりを地域主体で推進する機運が醸成された小学校区にて、まちづくり協議会の設立に向けた支援を実施し、小学校区単位のまちづくりの活動の輪を広げていく。</p>							
施策を取り巻く環境の変化	<p>個人の価値観の多様化や少子化・高齢化の進行とともに、本市においても人口が微減し、人口減少社会が到来する。また、地域コミュニティの希薄化や住民相互の関係性の弱体化、地域の担い手の減少により、福祉・子育て・防犯・防災等、地域の様々な課題に対応していくための地域の力の弱体化が懸念される。一方、地域の様々な課題に対応できる地域コミュニティの形成が求められ、昨今の台風や地震などの自然災害の多発等により、相互の助け合い・支え合いの重要性はますます高まっていくものと思われる。また、人生100年時代を迎え、元気なシニア層が地域で元気に活躍することにより、地域の活力を維持していくことが望まれている。</p>										
市民と行政の役割分担・協働	<input type="checkbox"/> 行政の役割を拡大 <input type="checkbox"/> 現在の行政と市民の役割分担・協働を維持 <input checked="" type="checkbox"/> 市民の役割・協働を拡大 <p>多様化する地域課題に対応するためには、市民・地域自らが自治意識を高め地域課題を解決し、地域づくりを実践することにより、住み良い地域づくりを進めることが重要になっている。</p>										

7 2次評価(Check②&Action②) 白井市行政評価委員会による評価

- モデル小学校区での重点的な取組を進め、設立を推進するとともに、モデル小学校区での取組を検証し、他小学校区での取組に活かすこと。
- 「まちづくり協議会」の核となる自治会への加入促進策を講じること。
- まちづくり支援職員に応募した職員が少数であったことから、地域のまちづくりに対する管理職も含めた職員の意識改革を図ること。
- 地区社会福祉協議会、各地域のサロン、総合型地域スポーツクラブなど、地域で活動する団体のネットワーク化と活動支援を図ること。
- 地域での活動の担い手不足や高齢化が予測される中で、今後の活動の担い手の発掘・育成を進めること。
- 市民の自主的な防災活動や災害時の対応を支援するため、各種情報の提供等に努め、防災意識の醸成を図ること。

8 3次評価(Check③&Action③) 総合計画審議会による評価

--

9 3次評価の改善意見等への対応

--